

重要なインパクト、リスクおよび機会

倫理的な企業行動とそれを支える組織文化

IRO		バリューチェーン			時間軸		
I (P/N)	RO	上流	自社	下流	短	中	長
	R		●		●	●	●

従業員のコンプライアンス違反や不適切な行動が発生した場合、訴訟の発生や法規制への対応が求められることになり、訴訟対応や法的罰金の支払いに伴うコストが生じる可能性があります。そのような事態を防ぐため、当社グループはコンプライアンスに関するグローバルポリシーを策定し、倫理的な組織文化を維持しています。

賄賂や汚職の防止

IRO		バリューチェーン			時間軸		
I (P/N)	RO	上流	自社	下流	短	中	長
	R	●	●	●	●	●	●

賄賂や汚職が発覚した場合は、ステークホルダーからの信頼を失い、売上の減少や資金調達コストの増加につながる危険性があります。

それらを防ぐために、当社グループは賄賂や汚職の発生の防止と検出に関する方針・プログラムを定めており、企業のリスク管理を強化しています。

重要なインパクト・リスク・機会に関する方針・取り組み・実績

倫理的な企業行動とそれを支える組織文化

方針

当社グループは、グローバルにおけるコンプライアンス・リスクマネジメント機能領域を担当するチーフ・コンプライアンス・オフィサー（CCO）を任命しています。また、2025年4月に制定した「コンプライアンス管理ポリシー」に基づき、コンプライアンス機能を監督および助言するためのグローバルエシックス&コンプライアンスコミッティ（GECC）を設置しています。

当社グループの役員および従業員が遵守すべき行動のグローバルな統一基準を明確にするため、「第一三共グループ個人行動規範」を2020年4月に制定、運用しています。加えて、日本のグループ会社は役員、従業員、その他従事者が具体的に遵守すべき事項を定めた「コンプライアンス行動基準」を制定しています。これは「第一三共グループ企業行動憲章」および「第一三共グループ個人行動規範」と、日本製薬工業協会の「製薬協コンプライアンス・プログラム・ガイドライン」の内容も踏まえて策定されました。海外のグループ会社も、国・地域の法規制や特性に応じた社内規程を制定しています。

取り組み

グローバルでは、コンプライアンスの重要性に関する当社CEOのメッセージを定期的に（年に2回）発信するなどの啓発活動を行うことで、当社グループにおけるコンプライアンス意識の一層の向上に努めています。また、当社グループの全ての役員および従業員を対象として企業風土に関するグローバル意識調査を毎年実施し、コンプライアンス意識の浸透度を確認しています。

当社および日本のグループ会社の各部署では、コンプライアンス意識の向上および高い倫理観や風通しの良い職場風土の醸成のため、共通のオリジナル研修資材を活用した少人数グループによる討議形式のコンプライアンス対話会を年1回以上実施しています。また、当社取締役、監査役、

執行役員、日本のグループ会社の社長および監査役を対象に、外部講師を招いたコンプライアンス研修を定期的実施しています。当社および日本のグループ会社新入社員、新任マネジメント職等については、それぞれ階層別に毎年コンプライアンス研修を実施しています。

海外のグループ会社では、各地域の状況に応じて、対面やEラーニングによるコンプライアンス研修等を実施しています。

賄賂や汚職の防止

方針

当社グループでは、贈賄および腐敗行為の防止について、「第一三共グループ個人行動規範」においても明記していますが、一層の徹底を図るため、公務員や医療関係者に対する現金払いの禁止等、より詳細な内容を定める「第一三共グループ贈賄および腐敗防止ポリシー」を制定し、運用しています。

当社グループ内における一連の取り組みを通じて、腐敗および贈賄の疑いまたは事件の防止、検出、および対処を適切に行っています。これには、当社グループの贈賄防止および腐敗防止ポリシーの教育、適切な社内の報告についてのトレーニング、リスクの高い機能の選定に関する定期的な監査およびモニタリング、ならびに関連地域またはローカルの関連会社で生じた疑いのある事案の当社グループ取締役会への報告が含まれます。

役員、従業員、および派遣社員に対して、コーポレートウェブサイトの主要ページやグローバルトレーニング、ポリシー、手順、およびコンプライアンスコミュニケーションを通じて、贈賄防止および腐敗防止に関する当社の原則を周知しています。また、当社グループは全ての役員、従業員、派遣社員に対して、贈賄防止および腐敗防止に関するトレーニングを受けることを求めています。

実績

KPI項目および2025年度時点での目標値	2024年度実績
重大なコンプライアンス違反※1 0件	0件
留意すべきコード違反※2 0件	3件
企業風土に関する従業員調査スコアの向上	肯定的回答率 93% (前回比 7ポイント向上)
各会社でコンプライアンス・モニタリング、プロモーション活動・モニタリングの継続実施	各社にてモニタリングを実施

※1 関連法規制において第一三共グループとして対外的な開示が必要とされる、国内外グループ会社で発生したコンプライアンス違反

※2 規制当局および業界団体による医療関連の指摘があり、第一三共グループの信用を著しく低下させる可能性のある事案